

2020年北九州港の貿易概況

区分	全国	九州経済圏	福岡県	北九州港	全国に占める構成比
輸出総額	68兆4,005億円(▲11.1%)	7兆4,637億円(▲12.8%)	4兆8,256億円(▲10.6%)	1兆1,744億円(▲3.1%)	1.72%
輸入総額	67兆8,371億円(▲13.7%)	5兆4,575億円(▲19.0%)	2兆2,902億円(▲15.4%)	8,721億円(▲23.3%)	1.29%
輸出入総額	136兆2,376億円(▲12.4%)	12兆9,212億円(▲15.5%)	7兆1,158億円(▲12.2%)	2兆465億円(▲12.9%)	1.50%

2020年の北九州港の貿易実績は、輸出総額が前年比3.1%減の1兆1,744億円、輸入総額が前年比23.3%減の8,721億円、輸出入総額が前年比12.9%減の2兆465億円となり、いずれも2年連続で減少した。輸入総額は10年ぶりに1兆円を割り込んだ。貿易収支は3,023億円の黒字となり、6年連続で黒字となった。

輸出に関して、品目別では、一般機械、鉄鋼、ゴムタイヤ及びチューブ、電気機器、有機化合物の上位5品目で8,195億円と全体の69.8%を占めている。前年と比較すると、上位5品目では順位に変動はなく、前年第8位のプラスチック（前年比1.8%増）が第6位へ、前年第9位の食料に適さない原材料（前年比5.7%増）が第7位へ、前年第10位の非鉄金属（前年比41.4%増）が第8位へ順位を上げた。

国（地域）別では、中華人民共和国が前年比20.0%増の4,499億円で、20年連続の第1位となった。第2位は大韓民国で前年比8.9%増、第3位はアメリカ合衆国で前年比31.3%減、第4位は台湾で前年比9.1%増、第5位はインドで前年比18.0%減となった。上位3カ国では順位に変動はなく、前年第6位の台湾が第4位に順位を上げた。上位5カ国への輸出額7,720億円は全体の65.7%を占める。

地域分類別では、東アジア主要地域（中華人民共和国、大韓民国、台湾、香港、ASEAN10カ国（ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、フィリピン、インドネシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー））への輸出額8,321億円は、全体の70.9%（前年比5.8%ポイント上昇）を占めている。輸出額は、アジア、西欧に対して前年に比べ増加し、大洋州、北米、中南米、中東欧・ロシア等、中東、アフリカに対して減少した。

輸入に関して、品目別では、電気機器、輸送用機器、一般機械、天然ガス及び製造ガス、石炭の上位5品目で3,749億円と全体の43.0%を占めている。前年と比較すると、上位3品目では順位に変動はなく、前年第4位の石炭（前年比38.1%減）と前年第5位の天然ガス及び製造ガス（前年比12.4%減）の順位が入れ替わった。また前年第6位の非鉄金属（前年比48.2%減）が第9位となり、代わりに有機化合物（前年比10.0%減）が第6位、無機化合物（前年比22.8%減）が第7位へと順位を上げた。

国（地域）別では、中華人民共和国が前年比18.7%減の3,196億円で27年連続第1位となった。第2位は大韓民国で前年比21.8%減、第3位はオーストラリアで前年比23.0%減、第4位はタイで前年比21.7%減、第5位はマレーシアで前年比39.0%増となった。前年第5位のアメリカ合衆国は前年比45.8%減と大幅減で第9位となった。上位5カ国の輸入額5,349億円は、全体の61.3%を占める。

地域分類別では、東アジア主要地域（中華人民共和国、大韓民国、台湾、香港、ASEAN10カ国）からの輸入額6,116億円は、全体の70.1%（前年比5.4%ポイント上昇）を占めている。輸入額は、全ての地域（アジア、大洋州、北米、中南米、西欧、中東欧・ロシア等、中東、アフリカ）に対して前年に比べ減少した。

北九州港の最大貿易相手国は、20年連続で輸出・輸入ともに中華人民共和国であり、輸出入総額で見ると全体の37.6%を占め、前年より4.9%ポイント上昇した。

図－1 北九州港の貿易額の推移

